

# 阿波市 議会だより

第30号 年4回発行 [平成26年3月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地  
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150  
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

## 平成25年第4回(12月)

## 阿波市議会定例会の概要

12月定例会は、12月2日から20日までの19日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、新庁舎及び交流防災拠点施設、小・中学校耐震補強工事、幼保連携施設整備事業の進捗状況について説明があり、土成中学校で行われた総合防災訓練や阿波deフェスタについて行政報告がありました。また、平成25年度一般会計補正予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、13人が市政全般について考えを問ひ、農業・観光振興、教育関係、防災対策、道路整備などについて議論されました。

12月13日に総務、産業建設、16、17日に文教厚生各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案がいずれも可決されました。また、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費の助成の拡充に関する請願」が採択されました。

お気軽に傍聴にお越しください

### 代表質問

吉田 正 議員  
(阿波みらい)



どの管理運営は、引き続き市が実施する。給食食材の調達方法は、地産地消推進計画部分と、牛乳・パンを除いた給食食材の必要量を公平で安全、確実、経済的に調達するため、できるだけ市場原理を取り入れる。職員は、当初、実務能力のある基幹社員と合わせて約21名配置され市内採用者は、27年度には約40名になるとの提案である。

榎原 伸 議員  
(阿波清風会)



問 生きる力の育成を重視した教育内容の充実とは。  
答 自然体験活動、まち探検、地域の環境づくり、職場体験学習など、学校、家庭、地域が相互に連携しつつ、社会全体で取り組む。確かな学力の習得とともに、豊かな心や健やかな体を培い、現代社会をたくましく生きる力を育みたい。

木村 松雄 議員  
(志政クラブ)



問 旧農業高校の跡地利用について。学校の用地に昭和21年に土成町の有志から2万6千㎡余りの無償提供があった。阿波市にとって県有地ではあるが大

### 一般質問

稲岡 正一 議員  
(阿波みらい)



地は、年次計画に基づき、新築工事の検討を進めてまいりたい。問 山野上農村公園北側池の整備計画は。  
答 防災・減災の面から調整池として利用可能か、洪水に対する調整能力、上流部の流域面積等、現在、流域調査を行い、平成26年1月末までに完了予定である。その結果を踏まえ、広域的、長期的視点にたつて、地元の方々と協議しながら、最善策を検討していきたい。

榎原 賢二 議員  
(阿波絆)



問 善入寺島の中央線(市道)の補修と農産物のブランド化推進について。  
答 中央線は東西4.7kmに及ぶ重要路線であり、西側は特に傷みが激しい。計画的に補修するとともに、突発的な陥没等は、建設課に一報いただければ対応する。ブランド化は、流通関係者や消費者に、善入寺島内で生産された農産物の良さを広報するとともに、県、JA等と連携

江澤 信明 議員  
(阿波清風会)



問 給食センターの業務の民間委託について、業者選定は。  
答 プロポーザル方式による公募により、(株)東洋食品が選定され、採用人数は約40人となる。

問 今までの納入業者をどのように扱うのか。  
答 公平で安全、確実、経済的な市場原理を取り入れた調達方法にしていきたい。

問 阿波市産農産物の地産地消の取組みについて。  
答 「地産地消推進計画」の中で市内4JAで組織する「阿波市学校給食農産物供給協議会」を立ち上げ、新たな供給体制の確立に向け協議を行っている。その情報は農産市や広報等で発信していく。

問 新庁舎周辺の道路整備について。  
答 東側への道は、県において道路整備が行われているが、早期完成に向け積極的に要望を行

吉川 精一 議員  
(阿波みらい)



問 水田の生産調整について。市として関係団体と協調してどのような取組みをしていくのか。  
答 今後、担い手対策として、新規就農者の育成支援、人・農地プランによる農地の集積やコスト軽減を図ることを主軸に、JA、土地改良区、農業関係団体と方策を探していきたい。

問 財政の今後の見通し、自主財源の確保と財政改革の成果について。  
答 行財政改革に取り組み、市民サービスの向上を図りながら、健全な財政運営に努めたい。また、企業誘致による雇用の創出や未利用財産の有効活用により、自主財源の確保に努めたい。

問 世界遺産への四国八十八ヶ所(阿波市内に四ヶ寺ある)の申請について。  
答 市の取組みとしては、6番札所安楽寺から11番札所藤井寺に至る遍路道と、88番札所大窪寺から10番札所切幡寺に至る遍路道の総延長約29キロを景観条例により保護し、そのうちの約12.5キロは、文化財保護法に基づき重要文化財景観に指定して、世界遺産登録に向けた中期目標として取組んでいきたい。



**正木 文男** 議員  
(阿波清風会)



**問** 阿波市ケーブルテレビ施設の運用状況、収支の状況は。また今後施設の更新も必要となることから他市町で実施されている民営化についての考えは。

**答** 平成20年に建設され、現在までは黒字で運用されている。今後、施設の更新も必要となることから、民営化の可能性を含め検討していきたい。

**問** 農水を守る土地改良区の役割は重要なものであり、改良区への支援が求められているが、市としての取組みは。また、パイプライン化により排水路としての役割を担う排水路について地域の排水路として位置づけ、公的管理ができないか。

**答** 土地改良区への支援として現在、市内改良区の合併推進、農業基盤整備事業や農地水保全事業等への補助や償還金の助成等を行っている。排水路としての位置づけは今後の課題として考えていく。

**問** 明多意神社への市道明多意線の整備を辺地対策事業として取組めないか。また、周辺の環境整備としてトイレの整備や簡易な水供給施設の整備に取組めないか。

**答** 辺地対策による道路整備については現在2路線を実施しているが、地元の要望を踏まえながら検討していきたい。また、周辺の環境整備については可能かどうか調査していきたい。



詳しくは、阿波市のHPに掲載しています。

**香西 和好** 議員  
(公明党)



**問** 道路交通法の改正により12月1日から自転車の通行方法が変わり、今までは道路の左右どちらでも通行できたが、今回の改正で左側通行に統一になった児童生徒、市民にどのように周知を図るのか。

**答** 広報やケーブルテレビで周知する。警察署、交通関係団体、学校等と連携し、改正後の交通ルールの周知徹底を図っていく。

**問** 自転車事故防止のため、自転車安全安心条例の制定を提案しているが、進捗状況は。

**答** 条例制定に至った京都市の交通ルールやマナーなどの課題は、地方でも共有できる。自転車ルールの明文化と周知を図ることは重要と認識している。引き続き調査研究していく。

**問** 自転車事故に備えた通学児童の保険加入状況は。

**答** 平成23年度9%、平成24年度23.7%、平成25年度は加入者が224名で、24.6%である。12月1日現在の生徒数1014名の内99.3名が自転車通学をしている。今後も保険の周知に努めたい。

**松永 渉** 議員  
(阿波清風会)



**問** 林小学校にある使用停止中のごみ焼却場が老朽化し危険である。早急に撤去しては。また他の学校の状況は。

**答** 市内幼小中学校に6カ所ある。新年度で調査し早急に撤去をしていく。

**問** 新庁舎の活用策は何か。

**答** 新庁舎では、ワンストップ窓口やローカウンター、個室の相談室、キッズコーナー、授乳室等を設けると共に、来庁舎の手助けをするフロアマネージャーを配置し、利用者の利便性を高める。また、新庁舎建設による約5千万円の財政効果は、一般財源として総合計画の拡充施策の実現に活かしたい。

**問** 阿波市第一次総合計画の検証について。

**答** 前期基本計画、平成19年から23年に掲げた203の主要施策の全体評価は、66.7点あり、最高は、子育て支援、高齢者施策等の安全、安心のまちづくり73.7点。最低は、商工業、観光、雇用の産業が発展するまちづくり54.8点であり、評価点の低い分野は、事業の見直しや拡充などの新たな視点で事業に取組む。美しい環境のまちづくりの中で策定されていない地域環境総合計画については、環境重視の特色あるまちづくりを進めるために今後、調査研究したい。

**問** 災害時の議会連携について。

**答** 災害時には、執行機関と市議会が連携し、相互の協力体制のもと情報を共有し、対応ができるように協議したい。

**問** 介護保険制度改正の内容と、阿波市の実施は。

**答** 国は平成27年度に向けて、制度の充実と、重点化・効率化を一体的に行うための制度改正を検討している。要支援1・2の介護予防給付については、訪問介護・通所介護のサービスが地域支援事業に移行、特別養護老人ホームの入所については、中重度者への重点化、又費用負担の見直しなどが検討されている。

**問** 介護保険制度改正の内容と、阿波市の実施は。

**答** 国は平成27年度に向けて、制度の充実と、重点化・効率化を一体的に行うための制度改正を検討している。要支援1・2の介護予防給付については、訪問介護・通所介護のサービスが地域支援事業に移行、特別養護老人ホームの入所については、中重度者への重点化、又費用負担の見直しなどが検討されている。

**問** 阿波市では、国の制度改正に準じた第6期介護保険事業計画策定に向け、地域支援事業のサービスを提供していきたい。

**答** 「阿波市入札制度改善検討委員会」を設置し、より適正な入札制度となるよう検証・改善を行っている。「最低制限価格制度」については、ランダム係数を用いた固定型を導入している。

**問** 最小の費用で最大の効果は。

**答** 公共工事の低入札は、工事の品質の確保、下請けへのしわ寄せ、労働条件の悪化等へつながる。また、工事の品質確保のため、工事監督体制強化の取組みや立ち入り調査も行っている。公正な競争と地元経済への配慮を両立させる入札制度の調査研究を続けて参りたい。

**問** 休館中の白鳥荘の今後における計画はどの様に考えているのか。阿波市のイベント広場として青空市、植木市、フリーマーケットなど限らないほど無制限に広がる地域ではないかと思うのだが。

**答** その様な方向へ向かっていくと考えている。遊歩道等の維持管理、整備等も当然行いたい。

**問** 出産祝い金について。見直し時期に考えているのか。

**答** アンケート調査あるいは子育ての観点から見直す時期に来ている事は確かである。本当に人口増につながるような、あるいは子育てする母親、家族の方がかかりと喜んでいただけるようなものを考えていきたい。

**問** 子育て行政について。久勝保育所の民営化に伴う成果は。また、阿波町以外の旧町での指定管理の考えは。

**答** 制度導入後8カ月経っているが問題は無く、26年度入所予定者についても前年度以上の希望者の申し込みがある。今後2、3年様子を見て考えたい。

**問** 新庁舎周辺の船戸切幡上板線の狭い箇所に退避所を臨時

**答** 総合的な観点から本市の実情にあった移動支援サービスの有り方を研究、協議していきたい。

**問** 対向の苦慮等の現状は把握している。用地等可能な場所があれば、県に積極的に予算要望を行いたい。

**答** 交流防災拠点施設の多目的ホールの程度は、最大645席収容可能。音響照明を備え、講演、映画、各種行事に対応。維持管理も考慮し華美な設計は控えて進めたい。

**問** 交流防災拠点施設の多目的ホールの程度は。

**答** 最大645席収容可能。音響照明を備え、講演、映画、各種行事に対応。維持管理も考慮し華美な設計は控えて進めたい。

**問** 休館中の白鳥荘の今後における計画はどの様に考えているのか。阿波市のイベント広場として青空市、植木市、フリーマーケットなど限らないほど無制限に広がる地域ではないかと思うのだが。

**答** その様な方向へ向かっていくと考えている。遊歩道等の維持管理、整備等も当然行いたい。

**問** 出産祝い金について。見直し時期に考えているのか。

**答** アンケート調査あるいは子育ての観点から見直す時期に来ている事は確かである。本当に人口増につながるような、あるいは子育てする母親、家族の方がかかりと喜んでいただけるようなものを考えていきたい。

**問** 子育て行政について。久勝保育所の民営化に伴う成果は。また、阿波町以外の旧町での指定管理の考えは。

**答** 制度導入後8カ月経っているが問題は無く、26年度入所予定者についても前年度以上の希望者の申し込みがある。今後2、3年様子を見て考えたい。

**問** 新庁舎周辺の船戸切幡上板線の狭い箇所に退避所を臨時

**答** 総合的な観点から本市の実情にあった移動支援サービスの有り方を研究、協議していきたい。

## 活動状況報告

### ●平成25年阿波市議会議員研修会開催

11月26日午前9時から、新潟県立大学准教授の田口一博氏を講師として「地方議会がめざすもの」というテーマで協議しました。議事機関としての重要性を再認識し、議会からの情報発信の必要性、そのためには自己研鑽していかなければならないと、議員個々に感じとった研修会でした。



### ●新庁舎及び吉野川勝命箇所築堤工事現場視察

12月17日、新庁舎及び交流防災拠点施設建設工事の現場を視察しました。12月中旬から設置中の「免震装置」について説明を受けました。工程的にはほぼ順調に進んでおり、2月からは建物本体が建ち上がっていく予定であるとのことでした。その後、阿波町勝命箇所（谷島地区・伊沢市地区）で行われている、国交省直轄工事の築堤工事を視察しました。地元の念願であった堤防が着々と出来上がっており、浸水被害の解消とともに安全・安心な生活が守られることを感じました。



### ●委員会等の開催状況

11月26日	議会議員研修会	2月3日	議会運営委員会
12月13日	総務常任委員会、産業建設常任委員会	10日	全員協議会
16日	文教厚生常任委員会	24日	議会広報特別委員会
17日	文教厚生常任委員会	25日	総務常任委員会
	全員協議会	26日	文教厚生常任委員会
	地域活性化インターチェンジ調査特別委員会		産業建設常任委員会

## 平成25年第4回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第60号	平成25年度阿波市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第61号	平成25年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第62号	平成25年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第63号	平成25年度阿波市水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第64号	地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第65号	阿波市立保育所設置及び管理に関する条例及び阿波市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	阿波市奨学金貸与条例の制定について	原案可決
議案第67号	林小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第68号	市場小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第69号	八幡小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第70号	柿原小学校地震補強工事のうち教室棟その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
請願第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	採 択
発議第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書について	原案可決

議会だより 編集雑感

「最近、母親以外の女性と話をしている。」という言葉が耳にしました。一生懸命に打ち込み、気付けば友人の多くがパパママ。若者が幸せな家庭を築き、高齢者が憂いのない日々を過ごせるまちづくりのため、皆様のご縁の輪を大きく広げたいと思っています。農業活性化・少子高齢化問題などは、即結果でない難しいテーマですが、これからも、絆とご縁を大切に、生活に根ざした地道な議員活動に取組みたいと思います。

(榎原賢二)